

本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの2025年1月6日現在の内容に基づいて、SMB C日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。

米国司法省没収資産分配プログラム  
マドフ救済基金（MVF）

被害者を救済し、人生を取り戻す

RCB ファンドサービス・エルエルシーにより管理されている救済基金

マドフ救済基金、第10回目の支払いを開始

2024年12月 更新

マドフ救済基金、第10回目の支払い

- ・ 23,408人の被害者へ1億3,140万ドルの支払い
- ・ 被害者の回復水準は被害損失額の93.71%に達します
  - ・ マドフ救済基金設立来の支払金額は43億ドル
- ・ 127か国の41,000人の被害者へ支払を行いました

本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの2025年1月6日現在の内容に基づいて、SMB C日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。

**Special Master Richard C. Breeden of the Madoff Victim Fund made the following announcement:**

## Reaching the Summit !

"On behalf of the Madoff Victim Fund and the U.S. Department of Justice, I am delighted to announce that MVF has initiated our tenth distribution ("D10") to victims of the criminal fraud at Madoff Securities. MVF is paying \$131.4 million to 23,408 victims, which is an incremental payment of 2.71% to each victim. These payments bring each participating victim to a 93.71% recovery from all sources. With D10, MVF has paid over \$4.3 billion directly to 40,930 victims.



Today's announcement marks the realization of our dreams of what could be done to help so many people with shattered lives. When MVF was created, there was a remarkable lack of knowledge of the true dimensions of the fraud. The losses of "direct investors" had been carefully studied in bankruptcy, but the losses of "indirect investors", who aren't eligible for bankruptcy recoveries, had not been analyzed. As it turned out, "direct investors" represented only about 6% of Madoff's known victims.

After publishing our Plan of Distribution and petition forms, we received a wave of more than 65,000 petitions covering over \$80 billion in losses. We knew the total approved losses would be less than that amount as we reviewed petitions, but still far more than the

amount available for distribution. Even with hard work and perseverance, in the early days we couldn't imagine bringing 41,000 victims to nearly a 94% recovery. Nonetheless, we were determined to do our utmost to help as many victims to the fullest extent possible.

Today's announcement demonstrates the results of this entire program. Since MVF's founding, it has traced the contours of the fraud, calculated the amount stolen, and then returned as much as was possible directly to the people and entities from whom the money was stolen. Including D10, MVF will have made over 246,000 direct payments to victims.

Tracing the flow of funds that reached Madoff back to the individuals to whom it belonged was an arduous effort, but it had to be done. We were determined to make sure that every victim had an avenue for assistance that could be paid directly to them, rather than through a third-party. If possible, we also wanted to narrow or eliminate the wide disparities in the percentage recoveries among victims that existed when MVF was formed.

MVF ultimately recommended to the Department that 42,735 petitions from Madoff victims should be approved. We carefully measured how much these victims invested in, or took out, of the fraud. For a significant majority of petitioners, at least two intermediate entities were involved in transmitting investments to Madoff. In thousands of other cases, the investment of a victim passed through three, four or five intermediaries on its way to Madoff. As we completed our tracing, the full dimensions of the fraud became known for the very first time.

Before every MVF distribution, an average of more than 30,000 victims advised us how much they had received from other sources of payments. Cumulatively over 330,000 recovery confirmations gave MVF unique information on the recoveries that reached victims from all sources. That enabled us to calculate how much MVF needed to pay to bring each victim to the successively higher MVF percentage recoveries. That knowledge avoided duplicate payments to those victims with multiple sources of recovery.

Our effort involved reviewing millions of pages of documentation covering hundreds of thousands of financial transactions. It also required an enormous commitment to communication with victims. Over the years, MVF personnel had over **820,000 calls** or emails with victims to sort out the facts and be sure that everyone could successfully complete the petition process. In addition, we mailed **over one million** notices, collateral recovery updates, and checks to victims over the past decade. This work gave MVF the ability to pay victims directly. Also, because MVF payments go directly to the victim, the process is enormously efficient. For every **\$1 paid out** by MVF, a victim actually **receives \$1**. That is a ratio of 1:1 between payouts and victim receipts.

Throughout the process, MVF knew that our assistance was critical in restoring the financial and emotional life of many thousands of victims. Therefore, we worked hard to help every victim navigate the petition process successfully, as we knew that producing records after many years could be very difficult. We also wanted every victim to be able to understand, without needing costly advisors, what was required of them. While applicable law sets limits on what can be done, we hoped to assist everyone as much as possible. Bringing 41,000 victims to a 93.71% recovery is the fulfillment of our greatest hopes.

With completion of D10, the available forfeited assets will have been fully distributed. In 2025, eight years after our first distribution, MVF will complete its work. We have brought tens of thousands of victims to the greatest recovery we could achieve.

MVF's distributions offset one of the most monstrous financial crimes ever committed. Nothing can make up entirely for the lost years and the trauma every victim experienced. Nonetheless, we believe that we have been able to carry out the Department's determination to right this enormous wrong."

本抄訳は、マドフ救済基金（MV F）の公式ウェブサイトの 2025 年 1 月 6 日現在の内容に基づいて、S M B C日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MV Fの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご留意ください。

## 頂上到達！

“MV Fと米国司法省を代表して、MV Fがマドフ関連証券の犯罪詐欺の被害者に 10 回目の分配（D10）開始を発表することを喜ばしく思います。MV Fは 23,408 人の被害者に 1 億 3,140 万ドルを支払い、各被害者に対して 2.71%の追加支払いを行います。この支払いにより、参加した被害者はすべての源泉から 93.71%の回収を達成することになります。D10により、MV Fは 40,930 人の被害者に総額 43 億ドル以上を直接支払いました。

本日の発表は、損失を被った多くの人々を助けるために何ができるかという私たちの夢の実現を示しています。MV Fが設立された当初、詐欺の真の側面に関する知識は著しく欠如していました。「直接的な投資家」の損失は、破産手続きによって慎重に調査されていましたが、破産による回収の対象とならない「間接的な投資家」の損失は分析されていませんでした。結果として、「直接的な投資家」はマドフの被害者のわずか約 6%に過ぎないことが判明しました。

MV Fによる分配計画と申請フォームを公開した後、損失総額 800 億ドルを超える、65,000 件以上の申請を受け取りました。申請を審査する中で、承認される損失総額はその金額よりも少ないことは分かっていたのですが、それでも分配可能な金額をはるかに上回るものでした。当初は、たとえ努力と忍耐を尽くしても、41,000 人の被害者に対し、94%近くの回収金をお支払できるとは想像できませんでした。しかし、私たちは、できるだけ多くの被害者を支援するために全力を尽くすことを決意しました。

本日の発表は、このプログラム全体の成果を示しています。MV Fは設立以来、詐欺の輪郭を追跡し、盗まれた金額を計算し、可能な限り多くの金額を被害者や被害を受けた団体に直接返還してきました。D10を含めると、MV Fは 246,000 件以上の直接支払いを被害者に対して行ったことになります。

マドフに渡った資金の流れを、その資金が属していた個人まで遡るのは困難を極めました。それはなされなければならないものでした。私たちは、すべての被害者が、第三者を介さずに直接支払いを受けられる支援の道を確認することを決意していました。可能であれば、MV Fが設立されたときに存在していた被害者間の回収率の大きな格差を縮小、または解消したいと考えていました。

MV Fは最終的に、マドフ被害者からの 42,735 件の申請を承認すべきだと米国司法省に勧告しました。私たちは、これらの被害者がどれだけ投資し、どれだけ引き出したかを慎重に調査しました。申請者の大多数にとって、少なくとも 2 つの中間機関がマドフへの投

本抄訳は、マドフ救済基金（MV F）の公式ウェブサイトの 2025 年 1 月 6 日現在の内容に基づいて、SMB C日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MV Fの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。

資の伝達に関与していました。他の数千ものケースでは、被害者の投資は 3 つ、4 つ、または 5 つの中間機関を経由してマドフに到達していました。追跡が完了すると、詐欺の全容が初めて明らかになりました。

MV Fからの毎回の分配の前に、平均 3 万人以上の被害者が、他の源泉から**受け取った金額**を私たちに報告してくれました。累計で 33 万件を超える回収確認により、MV Fはすべての源泉から被害者に届いた回収に関する独自の情報を得ることができました。それにより、各被害者が段階的に高いMV Fの回収率に達するためにMV Fが支払う必要がある金額を計算することができました。それを知ることで、複数の回収資金源を持つ被害者への重複支払いを避けることができました。

私たちの取り組みには、数十万件の金融取引をカバーする数百万ページの文書の精査が含まれていました。また、被害者とのコミュニケーションにも多大な労力を要しました。何年にもわたって、MV Fの職員は、事実を整理し、誰もが申請手続きを無事に完了できるようにするために、被害者と **82 万件以上の電話**や電子メールでのやりとりを行いました。加えて私たちは過去 10 年間に於いて、**100 万件以上の通知**や、追加的回収金情報更新、小切手を被害者に直接郵送しました。この活動により、MV Fは被害者に直接支払いを行うことができるようになりました。また、MV Fから被害者に直接支払われるため、プロセスは非常に効率的です。MV Fから**支払われる 1 ドル**ごとに、被害者は実際に 1 ドルを**受け取り**ます。これは、支払額と被害者の受領額の比率が 1:1 であることを意味します。

その過程を通じて、何千人もの被害者の経済的・精神的生活を回復するためには、私たちの支援が不可欠であることをMV Fは知りました。そのため、私たちは、すべての被害者が申請手続きをうまく進めることができるように懸命に努力しました。何年も経ってから記録を作成することは非常に困難であることを知っていたからです。また、私たちは、すべての被害者が、高額なアドバイザーを必要とせずに、自分に求められていることを理解できるようにしたいと考えました。適用される法律はできることに制限を設けますが、私たちはできる限りすべての人を支援したいと考えていました。41,000 人の被害者を 93.71%の回復に導いたことは、私たちの最大の希望の実現です。

D10 が完了すると、使用可能な没収資産はすべて分配されることとなります。最初の分配から 8 年後の 2025 年に、MV Fはその業務を完了します。私たちは、数万人の被害者に対して、私たちが達成できる最大の回復を実現しました。

MV Fの分配は、これまでに行われた最も凶悪な金融犯罪の 1 つを補うものでした。失われた年月や被害者が経験したトラウマを完全に埋め合わせることはできません。それでも、

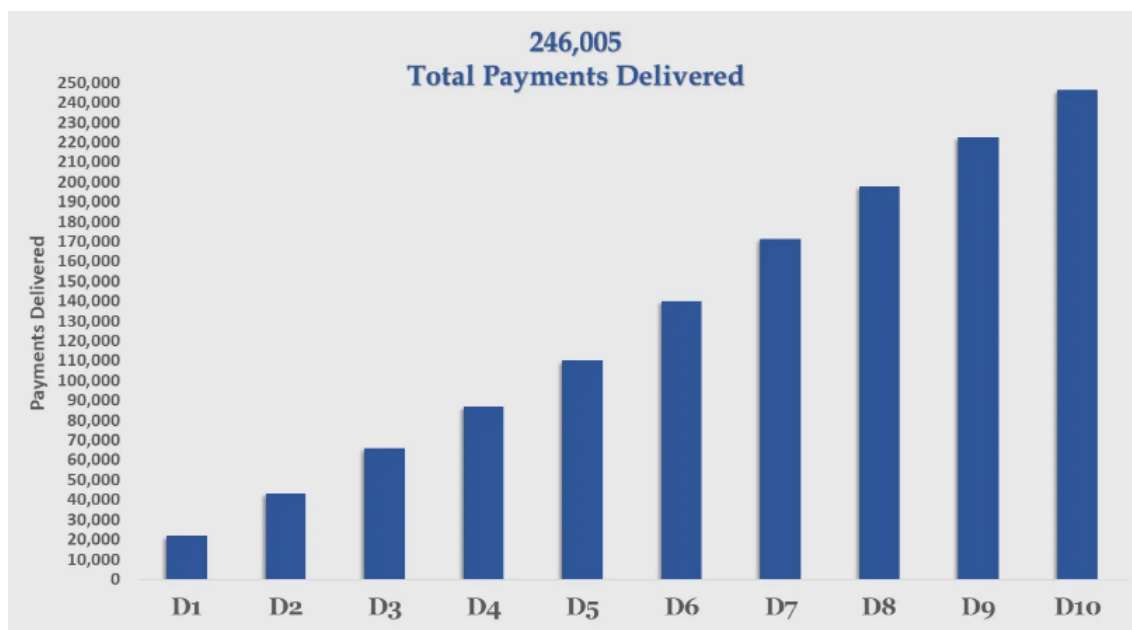
本抄訳は、マドフ救済基金（MV F）の公式ウェブサイトの 2025 年 1 月 6 日現在の内容に基づいて、SMBC日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MV Fの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。

私たちはこの巨大な過ちを正すという米国司法省の決意を実行することができたと信じています。”

### MV F 総支払額の新しい記録を樹立

D10 において、MV F は 23,408 人の被害者に 131,354,704 ドル、つまり詐欺被害に対する 2.71%の追加的な分配を行います。これにより、被害者が受け取る割合は 91%から 93.71%に引き上げられます。この回復水準は、被害者のすべての資金源からの回収を考慮した後に計算されます。MV F は、マドフ詐欺の被害者 40,930 人に累計 4,302,594,528 ドルの支払いを行うこととなります。

MV F は 2017 年 11 月に最初の分配を行いました。最初の分配では、21,618 人の被害者が、（すべての源泉から）詐欺被害の 25%を回収しました。これらの被害者のうち約 16,500 人（75%超）は、それまでに損失を回収していませんでした。その後 7 年間で、MV F はさらに 9 回の分配を行い、それぞれ少なくとも 2 万人の被害者に分配されました。



### 私たちが支援した人々

MV F が支援した被害者は圧倒的に個人が多く、MV F がその過程で支払った申請者の 95%にあたる 38,860 人以上です。これらの個人は、合計で 49 億 4000 万ドル以上のキャッシュイン・キャッシュアウトの損失を抱えていました。マドフおよびフィードーファンドの破産を通じた回収を含む他の補償源により、これらの人々には 34.6%の回収がもたらされました。その後、MV F は 28 億ドルを支払い、これらの人々の回収率を 93.71%に引き上げました。

本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの2025年1月6日現在の内容に基づいて、SMBC日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。



MVFは、2,069件の「機関」（633件の企業を含む）から提出された申請を承認しました。これらの機関は、合計約26億ドルのキャッシュイン・キャッシュアウト詐欺損失を被っており、個人の損失額のおよそ52%の額に相当します。これらの機関のうち、864件はさまざまな目的を持つ慈善団体や非営利組織でした。これらの機関の約74%はアメリカ合衆国内で組織されており、残りは23の他国に所在しています。

マドフが盗んだ慈善団体や非営利団体の中には、驚くほど多様な機関が含まれていました。少なくとも108の大学、カレッジ、専門学校、または中等学校が被害者となりました。その多くはアメリカ各州に所在するアメリカの学校でしたが、イギリス、オーストラリア、イスラエル、スイス、イタリア、ベルギー、フィンランド、カナダ、シンガポール、アルゼンチン、香港の学校や大学も資金を盗まれました。教育機関の損失額は数千ドルから最大で約2,000万ドルに及びました。

学校に加えて、多くの種類の慈善財団も被害を受けました。これらの団体は、図書館、病院、診療所、医学研究、青少年の育成とレクリエーション、法執行機関など、数十ものさまざまな目的を支援していました。

大企業や中小企業、労働組合、教会、政府機関の退職金制度は、合計で7億5,000万ドル以上の損失を被りました。被害者には、162件の”確定給付制度”、19件の利益分配計画、112件の複数雇用者計画（多くは労働組合計画）、36件の政府年金計画、4件の教会退職制度などが含まれます。一部の年金基金は数千万ドルの損失を被り、他の基金は数万ドルの損失を被りました。

マドフの犯罪には境界がなく、事実上あらゆる種類の投資家を標的にしていました。若者から高齢者、規模の大きいものから小さいもの、個人、家族、そして中小企業から大企業まで、マドフはすべてから盗みました。

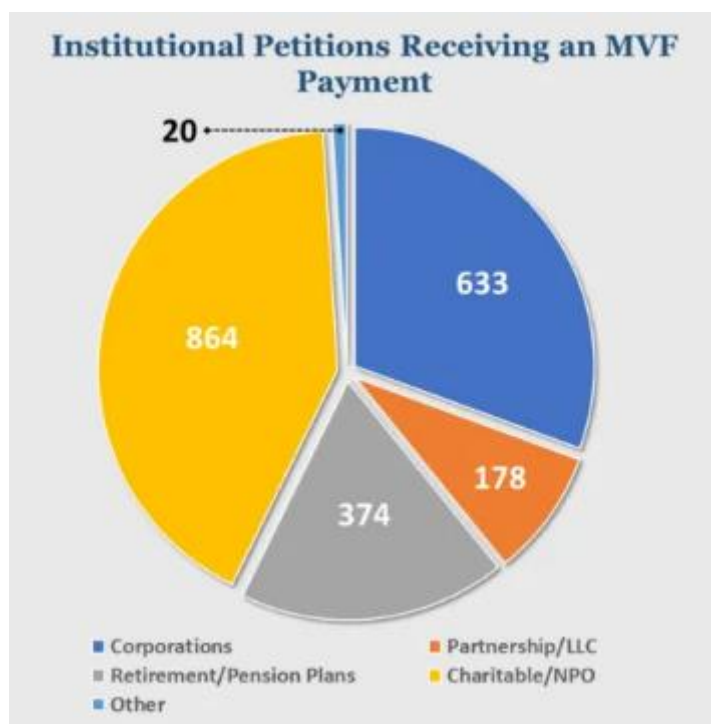
本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの2025年1月6日現在の内容に基づいて、SMBC日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。

MVFの活動は、圧倒的に個人と、彼らの苦痛に焦点を当てていました。多くの報道では、被害者の大半が大規模な機関や富裕層の個人であると考えられているようです。しかし、MVFに最初の申請が提出されたとき、この仮定が非常に誤っていることに気付きました。実際にMVFが支援した被害者の大多数は小口投資家であり、その平均損失額はおよそ25万ドルでした。

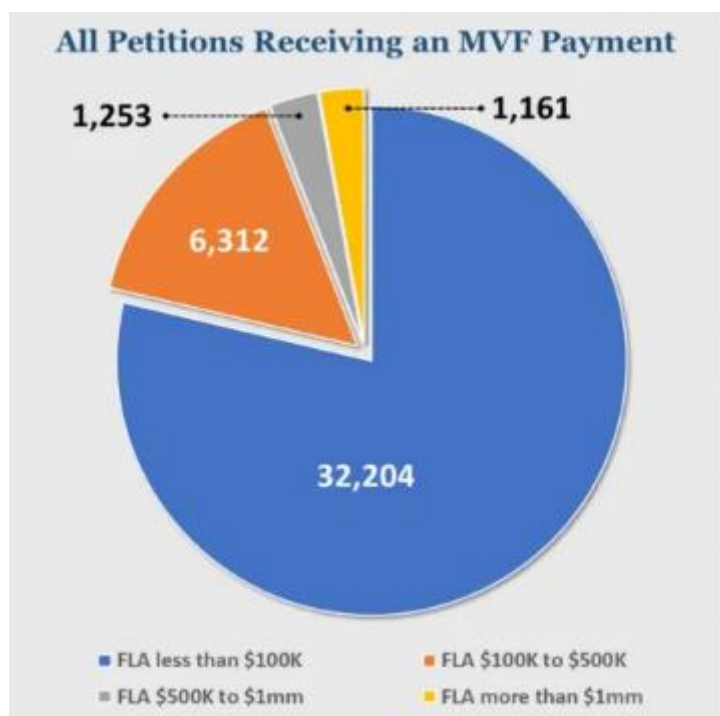
D10が支払われる23,408人の被害者のうち、742人、つまり3.2%のみが100万ドル以上の詐欺損失を被った被害者です。

また、被害者のうち1,594人、つまり6.8%の被害者が50万ドルを超える詐欺損失を抱えていました。3,950人（約17%）は、10万ドルから50万ドルの損失を被っていました。D10の支払いを受ける人々のうち、17,864人、つまり76%以上が10万ドル未満の詐欺損失を抱えていました。最大の単一グループは、1万ドルから5万ドルの損失を被った6,671人の被害者で構成されていました。MVFがこれまでの10回の分配で支払った被害者の総数は約40,930人で、そのうち38,548人、つまり94%以上が50万ドル未満の詐欺損失を抱えていました。

MVFは数千万ドル、場合によっては5,000万ドル以上の損失を抱える巨大な申請も審査しました。しかし、私たちの活動は圧倒的に個人、家族、小規模事業者を支援することに重点を置いていました。それらのうちの多くの個人の各損失額は小さかったものの、その損失はしばしば個人の総貯蓄や純資産の非常に大きな部分を占めていました。給料から給料へと生活する人々や固定収入で生活する人々にとって、1万ドル、2万5,000ドル、5万ドル、10万ドルの口座を突然失うことはしばしば壊滅的でした。MVFと米国司法省が、他の回収手段が存在しない、または限られている無力な被害者に対して回収を提供するプロセスを開発できたことを非常に誇りに思っています。



本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの 2025 年 1 月 6 日現在の内容に基づいて、SMB C日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。



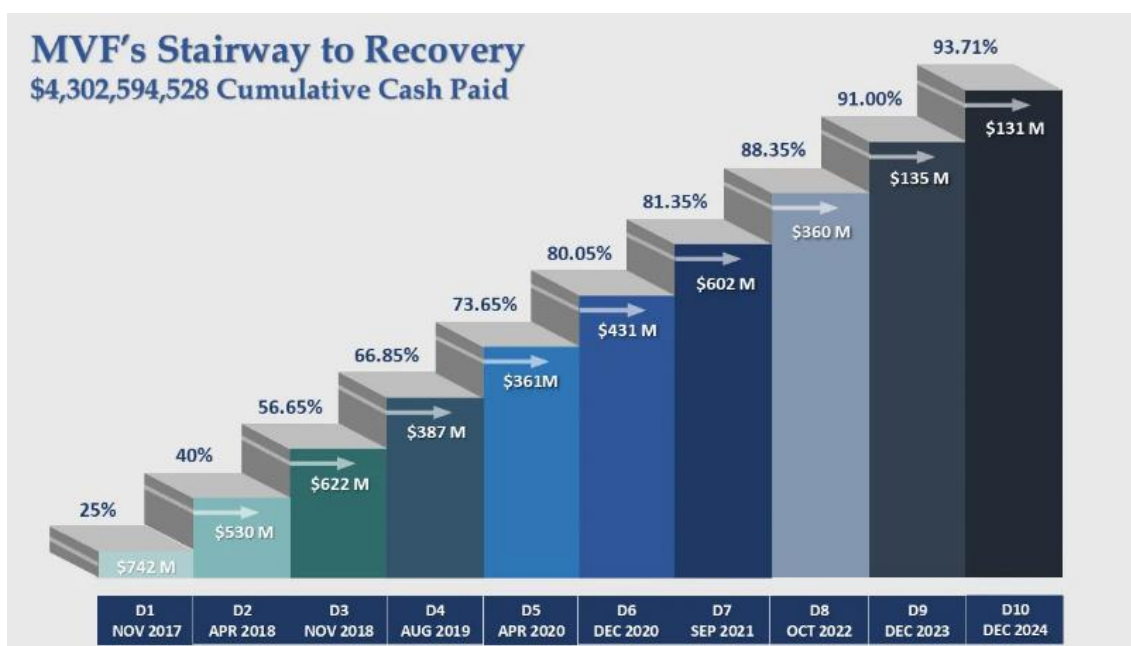
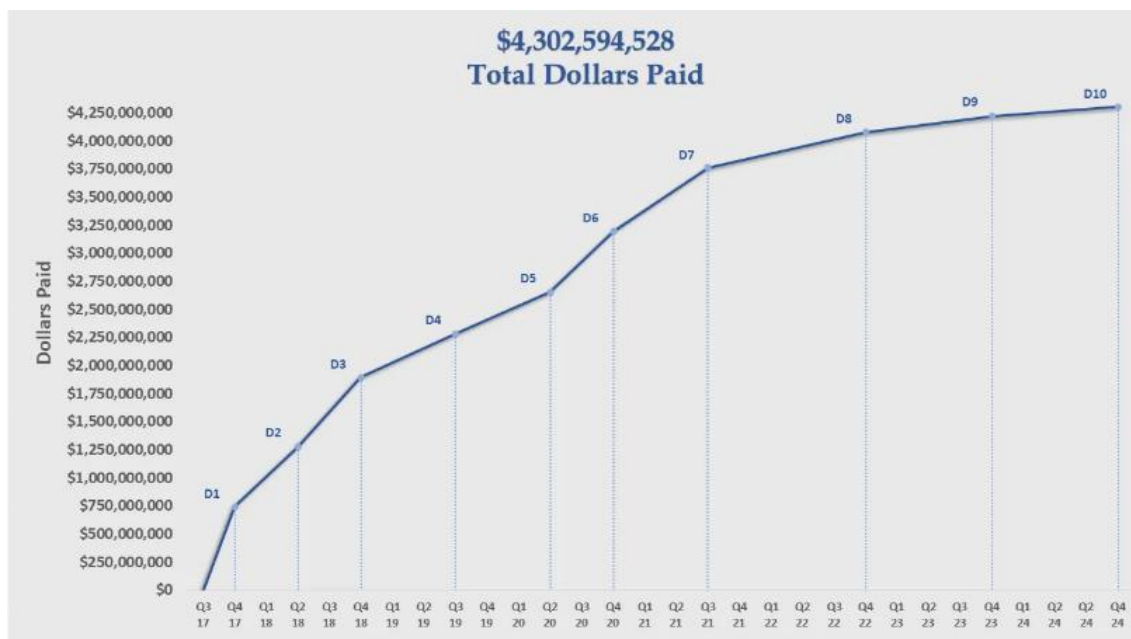
### 「追加的回収金」の問題解決

米国司法省の規制によると、MVFは、被害者が他の資金源から既に受け取った金額や、受け取る見込みのある金額を減額しなければなりません。これにより、MVFは他の方法で既に回収された、または回収される見込みの損失分を支払わないこととなりました。限られた資金源のため、一部の以前のマドフ投資家に対する二重の支払いは、他の被害者への支払いを減らすこととなります。MVFは、各被害者の、すべての資金源から回収された割合が均等になるようにすることで、一部の被害者に過剰に支払われ、他の被害者が過少に支払われるような不平等を防止します。

MVFの1つの目標は、異なる被害者間の大きく異なる回復率を平準化することでした。2017年11月の第1回目小切手（D1）から第10回目小切手（D10）まで、下記の図に示したように、MVFは一連の最低基準回収率を設定しました。各分配では、MVFはすべての投資家をその回収水準まで回復させ、すでに他の資金源からそれ以上の回収金を受け取った人には支払いを行いませんでした。この「ライジングタイド」構造により、MVFは被害者間の初期の大きな差異を解消することができました。



本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの 2025 年 1 月 6 日現在の内容に基づいて、SMBC日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。



### 道の終わりへの到達

詐欺が発覚してから 15 年が経った今でも、D10 小切手の対象となる約 10,000 人の被害者は、MVF 以外のいかなる手段からも補償を受けていません。全体として、D10 支払いの対象となる被害者の 75%にあたる 18,600 人以上が、他の手段から 30%未満の回収しか受けていません。これらの数字は、MVF が多くの被害者にとって命綱となっていることを強調しています。そして、私たちは当初の予想以上に多くの人々に、より多くの資金を提供す

本抄訳は、マドフ救済基金（MVF）の公式ウェブサイトの2025年1月6日現在の内容に基づいて、SMB C日興証券株式会社が作成したものであり、原文と抄訳に乖離または齟齬がある場合は原文が優先されます。また、MVFの公式ウェブサイトは今後、内容が更新されることがありますので、ご注意ください。

ることができました。

長年にわたる活動の末、MVFは没収資金の分配をほぼ完了しました。私たちは当初の目標をすべて達成し、それ以上のことを成し遂げました。何千人もの無実の犯罪被害者の生活に非常に大きなプラスの影響を与えたことを実感しています。何百万ドルを失った投資家から、数百ドルを失った投資家まで、そしてその間のすべての投資家を支援しました。

このような大規模な支払いを何万人もの被害者に直接届けることは、MVFのプロセスに関わったすべての人々にとって非常に満足のいくものでした。将来の犯罪によって再びMVFのような大規模な努力が必要とされないことを願っています。しかし、もし再びこのような悲惨な出来事が起こった場合でも、米国司法省とMVFがこのケースに示したようなエネルギー、創造性、そして執拗なまでの集中力をもって対処されることを願っています。

MVFによる金融支援が終わりを迎える一方で、多くの無実の人々に何が行われたかを、世界が決して忘れないことを願っています。マドフが行ったことの記憶を保存することが、二度と同じようなことが起こらないようにする最良の防御策かもしれません。

敬白

リチャード C. ブリーデン  
マドフ救済基金 特別管財人

MVFからの第10回目の分配に関する米国司法省のプレスリリースを閲覧される方は[こちら](#)をクリックしてください。

ニューヨーク州南地区の連邦検事局のプレスリリースを閲覧される方は[こちら](#)をクリックしてください。